

新和メッキ工業 株式会社

DX宣言書

2026年2月27日
新和メッキ工業 株式会社
代表取締役社長 瀧見 直晃

□ 経営理念

私たちは、めっき技術を通じて製品の価値を高め、お客さまのものづくりを支え続ける会社です。受け継がれてきた技術を大切にしながらも、時代の変化に合わせて進化することを恐れず、働く人が誇りとやりがいを持てる職場をつくります。技術と人を大切にし、地域に必要とされ続ける会社であり続けることが、私たちの使命です。

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の活用により情報管理の透明性を高め、お客さまと揺るぎない信頼関係を築きます
- ◆ 現場に根ざした着実な業務効率化を通じて、従業員が品質安定や技術研鑽に専念できる環境を整えます

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2027年1月)

戦略 「業務効率化に向けた社内基盤の強化」

- 施策
- ・ 紙や口頭での受注をモバイル端末等でデジタル化することで、受注情報をデータ化
 - ・ 属人化解消に向け、見積書・請求書における共通項目と個別項目を整理
 - ・ 社内票の必要項目を精査し標準化することで、システム連携に最適化したデータ構造を構築
 - ・ 経験豊富な技術者のノウハウを継承するために、製造工程の動画やオンラインマニュアルを作成
 - ・ 社員の意見を踏まえたDXの取組状況および成果を社内で定期的に発信

➤ フェーズ2(2027年2月 ~ 2028年1月)

戦略 「生産管理のDX化によるバリューチェーンの高度化」

- 施策
- ・ 生産管理システム導入に向け、必要項目の洗い出し、および費用対効果・機能等の比較検討を実施
 - ・ 現場検証およびシステム運用の定着に向けて、特定案件を対象とした試行運用を実施
 - ・ 進捗状況・納期を顧客へ自動通知することで、信頼関係を強化
 - ・ 過去の原価や工数実績を即座に参照・比較できる仕組みを構築し、根拠に基づいた迅速な見積算出を実現

➤ フェーズ3(2028年2月 ~ 2029年1月)

戦略 「DX推進による新たなビジネスチャンスの創出」

- 施策
- ・ 見積りから納品までの工程と原価実績を紐付け、案件ごとの採算性をリアルタイムで可視化
 - ・ 過去の受注周期や顧客傾向の分析に基づき、最適な提案活動を実施
 - ・ これまでのDX施策を振り返り、進捗状況や課題を洗い出すことで、継続的な改善の仕組みを定着化
 - ・ 会社ホームページやSNSを活用し、DXに関する取り組み等、企業の魅力を広く発信

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 事務作業時間の削減 : 2025年度比 30%削減(~2028年1月)
- ・ 進捗確認に関わる連絡時間の削減 : 2025年度比 30%削減(~2028年1月)